

会議・打合せ記録

会議録	平成19年度 第1回豊田市公共交通会議
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主催者あいさつ 2. 豊田市公共交通基本計画の概要について 3. 平成19年度以降の取り組みについて 4. 豊田市公共交通会議の目的について 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 豊田市公共交通会議規約の改正について (2) 基幹バス運行本数設定と料金設定の考え方について (3) 基幹バス路線の新設、増便等について (4) 地域バス等路線の新設について 6. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 運行事業者選定の考え方について (2) バスのデザイン、愛称について (3) 第2回会議の開催時期について 7. 閉会
日 時	平成19年 5月29日(火) 15:00～17:00
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室
出席者	<p>【委員】 荻野 弘(豊田工業高等専門学校)</p> <p>藪押 光市(豊田商工会議所)</p> <p>藤澤 義裕(豊田市区長会)</p> <p>竹田 芳夫(豊田市老人クラブ連合会)</p> <p>澤田恵美子(豊田市消費者グループ連絡会)</p> <p>三宅 純(豊田市PTA連絡協議会)</p> <p>関 範夫(豊田市社会福祉協議会)</p> <p>本田 ・広(名古屋鉄道株式会社)</p> <p>梶原雅一郎(愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>鈴木 和洋(名鉄バス株式会社)</p> <p>堀合 正行(豊栄交通株式会社)</p> <p>牛田 昌弘(愛知県タクシー協会豊田支部)</p> <p>鈴木 肇(愛知県バス協会)</p> <p>土井 正幸(愛知県交通運輸産業労働組合協議会)(代理:石黒)</p> <p>木村 幹雄(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)</p> <p>佐々木和久(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)(代理:村上)</p> <p>福本 充(国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)</p> <p>石田 裕則(愛知県警察豊田警察署交通課)</p> <p>青木 透(愛知県地域振興部交通対策課)</p>

	青野 六実（愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課） 大山 明夫（愛知県豊田加茂建設事務所足助支所） 吉橋 寿博（豊田市都市整備部） 【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課
資料	1．次第・配席図 2．資料1：豊田市公共交通基本計画 - 概要版 - 3．資料2：豊田市公共交通基本計画に基づく基幹バスの展開、事業実施計画 4．資料3：地域公共交通会議 5．資料4：豊田市公共交通会議 平成19年度第1回会議資料 6．資料5：基幹バス・地域バス等の運行事業者選定に係る基本方針 7．資料6：みんなで創り育て支える豊田市の公共交通

【議 事】(要約)

(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について

事務局 資料に基づき説明

(2) 基幹バス運行本数設定と料金設定の考え方について

事務局 資料に基づき説明

委員 バス利用者数が、計画の目標のとおり現状の1.5倍に増えれば、市の費用負担の軽減につながるので、目標を達成するための「しかけ」を工夫してほしい。

(3) 基幹バス路線の新設、増便等について

事務局 資料に基づき説明

委員 各路線のバスの運行時間帯はどのように設定したのでしょうか。高校生の通学事情等にも配慮したのでしょうか。

事務局 人の動きやバス利用需要の多い時間帯の実態に合わせて設定しております。通学、通勤ともに朝と夕方がバス利用の集中する時間帯であり、それらを考慮してダイヤ案を設定しました。

また、多くの高校生にバスを利用してもらうため、市内の高校の始業時間や補習開始時間等を調査し、それに間に合うように考慮したとともに、全体のネットワークとして乗り継ぎが可能となるように留意してダイヤ案を設定しました。

委員 バス路線の名称について、例えば「旭新盛線」などは「読み」の区切りがわかり難いので「旭・新盛線」のように「・」を入れたほうがよいのではないのでしょうか。

バスカードなどの既存の制度との関係の整理と同時に、新規路線である小渡と豊田市駅を連絡する路線は、名鉄バスが運行している渋谷線とルートが競合する区間があるため、新料金体系の導入に際しては事前の調整が必要だと思います。また、東山住宅線のルートとも近くなるため、影響を考慮していただきたい。

事務局 交通事業者と詳細に調整しながら進めていきたい。また、「旭・新盛線」は、小渡と新盛を起終点としているが、現在の高校生の通学実態を考慮し、朝時間帯は足助までの直通便を設けるような工夫を検討していますので補足します。

委員 下山地区に在住しておりますが、サービスが充実することに感謝しております。従来は岡崎市に通学する高校生が多かったが、合併後は豊田市への通学者が増えてきている。地域では利用促進協議会を設けており、今後ますます充実が図れるように、バス利用促進活動を実施していきたい。

事務局 本日は事務局の路線案を提示させていただきましたが、具体的なバス停の場所やダイヤの詳細調整などは、今後、地域や関係者の皆様と最終的な調整（修正）をさせていただきたいので、よろしくお願いします。

委員 バスのサービスが充実すれば、自転車利用の高校生等が交通結節点でバスに乗り換えることや通学手段をバスに転換することも想定されるため、自転車利用者の利便を向上させるような工夫もお願いしたい。通学手段の選択肢が増えることで進学先の選択の幅が広がるのは望ましいことだと思います。

委員 障がい者や高齢者に優しい仕様のバスの導入を考えているのでしょうか。

事務局 アドバイスのとおり、自転車利用者の利便性向上や利用の促進について工夫していきたい。また、誰もが利用しやすいように低床バスを導入します。

委員 現在運行しているさなげ足助バスの広瀬～猿投間の運行は存続されるのでしょうか。旭・豊田線の運行開始に伴い廃止されるのでしょうか。

事務局 継続して運行します。

(4) 地域バス等路線の新設について

事務局 資料に基づき説明

委員 曜日限定運行の場合、運行日は固定されるのでしょうか。ともえ号の場合は、月ごとに運行曜日が変動しますが。

事務局 運行する曜日を地域で検討する際に、住民の移動したい曜日を運行曜日として設定しているため月ごとに変動することは考えていませんが、実際に運行した結果を踏まえて、最も利用しやすいように見直しを図っていきます。

委員 乗車券や定期券に電子マネー機能を導入し、コンビニエンスストア前にバス停を設置すれば、利用者及び事業者の相互にメリットが期待できるのではないのでしょうか。防犯上のメリットもあると思います。

事務局 ICカードを導入することで様々なサービス提供が可能となるため、将来的な導入に

向けて、各事業者と連携しながら検討してまいりたいと思います。

委員 障がい者割引制度は設けるのでしょうか。

事務局 運賃を半額にする制度を設けます。介護者の運賃等についても、交通事業者の制度に準じて設定していきたいと考えています。

委員 利用促進のための「広報」などについても検討していますか。

事務局 より多くの人にバスを使っていただくためのキャンペーンなどを検討しているため、次回会議には提示させていただきたいと思います。

委員 公共交通の充実は有効な施策だと思います。交通結節点として、雨の日でも快適に利用できる設備や、自転車を安心して置くことのできる駐輪場などの整備も促進していただきたい。

【その他】

(1) 運行事業者選定の考え方について

(2) バスのデザイン、愛称について

事務局 資料に基づき説明

委員 バスの座席について、進行方向に対して横向きに座るベンチシートタイプのほうがよいのではないのでしょうか。混雑しているときはより多くの人に乗れます。

事務局 カーブが多く距離の長い路線では進行方向に対して縦向きに座るタイプ、直線的で距離が短い路線については横向きに座るタイプというように、それぞれの路線の特徴に応じた車両を導入します。

委員 バスを運行する事業者によって車内事故に対する対応が異なるのは望ましくありません。統一的に保険等の対応ができるようにしていただきたい。

事務局 運行を委託する契約を締結する中で、統一的な対応となるように工夫します。

委員 現在、全国的に車内事故防止キャンペーンを実施しています。内容としてはバスの優しい運転に対する理解を求めるものです。今後も広報活動等でご協力をお願いします。

(3) その他

事務局 次回会議の開催時期は8月を予定しております。